会議結果報告書

１　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（菱沼海岸自治会）
２　日時	平成 30 年 10 月 27 日（土）10：00～11：00
３　場所	浜須賀会館
４　出席者	（資源循環課）森岡担当主査、小田副主査 （環境事業センター）広田主幹、安齋担当主査 （菱沼海岸自治会）参加人数：16 人
５　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●資料２の参考資料にある表４の本市での有料化導入シミュレーションにおいて、なぜ市民１人当たりの負担額が先行市と同じになるか教えてほしい。 →本市の人口で割り返しているだけのシミュレーションのため同じ額となる。 ●単純に割り返すのではなく、精査して負担額を示してほしい。 ●有料化を導入した場合に、経費が多額に発生するが、その経費とは何か。 →メーカーに依頼する袋の作製経費、流通を確保する経費、コンビニなどに袋を販売してもらう販売手数料がここでいう経費である。これらについては、削減の余地があると考えている。 ●有料化することにより本来増えるはずがない経費が増えることをデメリットとして市は示す必要がある。 ●有料化を導入した場合に、不法投棄が増加することを懸念している。新たに費用負担が発生したにも関わらず、不法投棄も増加してしまっては、市民にとってよいことが全くない。有料化は導入されたが、以前と比べて不法投棄は減少したから、市民にとってはよかったと思えるような施策を検討してほしい。 →貴重な意見として頂戴する。なお、この解決策として少しでも有効な手段としては、戸別収集だと考えるが、当然、経費が発生するため、収支のバランスを取りながらその実施を検討したい。 ●共働き世帯における戸別収集のデメリットはあるか。 →集積場所では時間的制約があるが、戸別収集の場合は、自身の管理でごみ出しを行うため、時間的制約はなくなると考えられる。また、カラス対策としてポリバケツを集積場所に置いている自治会があり、強風で飛んでいってしまうことがあるが、戸別収集の場合は、自己の敷地内に飛んでしまうこともあると思うが、周りへの被害は軽微になると考えられる。現在のところ、共働き世帯の場合のデメリットについてはみつからない。 以上